

サンタクッキー販売 人材育成と市場調査兼ね

フジイコーポレーション



販売員を勤めた須藤綾さん

フジイコーポレーション(藤井大介社長)は、昨年12月7〜10日と22〜24日の7日間、東京の表参道にある新潟館ネスパスでサンタクッキーの限定販売を行った。

同社の除雪機は2007年からフィンランド・ロバニエミ市サンタクロース村で使用されており、同社では会社のマスコットキャラクターをサンタクロースにしている。サンタクッキーは、サンタクロースを模った出となった。

同社は、クッキーを食べた人からどこで売っているのか教えてほしいという問合せが多く寄せられた為、クリスマスまでの限定販売を決定。昨年までの2年間は大阪駅構内の新潟県のアンテナショップ「じよんのび」にいがたで販売していたが、今回、初の東京進出となった。

販売員は、代々女性社員が勤める。同社では、普段社内業務が多く、顧客と触れ合うことが少ない女性社員の人材育成の場として活用している。同社では、今後クッキー販売のための新事業部を立ち上げる予定で、今回の販売も市場調査も兼ねている。

本紙が取材した22日は、機械事業製造部生産課の須藤綾さんが販売に当たっていた。須藤さんは、入社2年目で普段は、社内で資料調達などの事務作業を行っている。接客の仕事は初めてで、まだ少々

「おきこちないもの」「お客さんにサンタクッキーの由来を説明すると面白がって買ってくれる方もいる」とのこ

と。



サンタクッキー(1枚150円)

購入者からは「デザインが可愛い」「クリスマスプレゼントにちょうどいい」といった感想が聞かれた。